

# NETWORLD + INTEROP 2003 TOKYOで 「最新無線LAN製品を見つけた!」の巻

NETWORLD + INTEROP 2003 TOKYO(N+I)が6月30日から(展示会は7月2日から)7月4日まで、千葉の幕張メッセで開催された。ニュースコーナーでも通常のレポートが掲載されているので、ここでは「無線LANのある生活」的な観点で発見した一歩先ゆく無線LAN関連製品をレポートする。



text: 五後ケース



プレゼンテーション用アダプター「AirProjector KJ-100B」。左奥に写っているのは今後発表予定の小型版。実売価格は8万円程度。



「MOBOTIX IT-Type」。光っている部分は状態表示用のLED。プログラムで光らせることもできる。実売価格は15万円程度(カメラ単体)。

## ワイヤレススイッチとSSL-VPN が目立った今年のN+I

いきなり真面目な話、総論から始めるが、今年は無線LAN関連製品がずらっと並ぶのかと思っていたら意外と少なかった。全体的にVoIPやセキュリティーに重点が置かれていたことと、IEEE 802.11g規格が制定された直後なので製品を発表できない企業があったことなどが要因だと思う。

その中でも無線LAN関連で目についた傾向が2点あった。1つは“ワイヤレススイッチ”と呼ばれる製品が一般化し始めている点だ。ワイヤレススイッチの定義や機能は、まだ各社まちまちなのだが、アクセスポイントの管理とローミングの制御を中心に、ユーザーの管理やセキュリティーなどの機能も提供するものだ。ノーテルネットワークスや後述するトラビーズ・ネットワークスなど、N+Iに合わせて製品を発表したところもあり、今後メジャーなものになっていくだろう。

もう1つは無線LANとは直接関係はないが、SSL-VPN製品が目立った。これはモバイル環境などから企業のイントラネット環境へ手軽にセキュアな接続をするための製品である。無線LANスポットも今後もっと一般化してくると多くの企業がSSL-VPNを採用するだろう。

さて、ここからが本題だ。ワイヤレススイッチやSSL-VPN以外に、会場で見つけた気になる製品を以下に紹介しよう。

## 802.11b対応の 「プレゼン」用アダプター

まずは、PCの画像を無線LANを経由してプロジェクターへ送る無線LANアダプターを見つけた。以前から発売していたので知っている人もいると思うが、プロジェクターの接続をケーブルではなく無線LANでやってしまう製品だ。しかし、ただケーブルを無線LANに置き換えただけではなく、無線LANアダプターを持つ複数のPCから送られる画像をワンタッチで切り替えられるところが利点。複数の発表者がいる会議などで威力を発揮する製品だ。なお、今後発売予定の小型版も展示されていた。

## ヘビーデューティーな ネットワークカメラ

左下の異様な様相を呈したカメラ「MOBOTIX IT-Type」は、防塵防滴構造でマイナス20でも耐えられるという優れものだ。しかもカメラの機能だけでなく、広角と望遠の2台のカメラを内蔵し、マイク、スピーカー、それとモーションセ

ンサーまで内蔵している何でもありのカメラである(しかもオプションで外部温度センサーも付けられる)。

実は無線LANを内蔵していないのだが、無線LANとともに使われている事例が多いのだ。たとえば、関西国際空港の滑走路監視用に26台設置されているし、またコインパーキングの監視などにも使われているようだ。



普通のネットワークカメラも多数出展された。写真はパナソニックコミュニケーションズの「BB-NWC150」。



シスコシステムズの「Aironet AP1100 (802.11b対応)」と「Aironet AP1200 (802.11a/b/g対応)」。

## 美しくなる 無線LANアクセスポイント

前々からアクセスポイントで美しい製品が出てくるのを心待ちにしていたのだが(AirMac Extremeはちょっと存在感がありすぎる) やっとデザイン重視の製品がぼちぼち出てきた。シスコシステムズの新型Aironetはシスコのブースだけではなく、いろんなブースで見かけられた。これは壁掛け時には平面型になり、平置き時にはアンテナ部分を立てることができるようになっている。平面型のときは非常に薄く、存在感をあまり出さない美しさがなかなかいい。

次の2つは前述したワイヤレススイッチとセットで使用するアクセスポイントだ。トラピーズ・ネットワークスのアクセスポイントはつや消しっぽい白色で、天井などに設置すると目立たなそうでなかなかいい。日本シンボルテクノロジーのアクセスポイントはCDのレーベル面のような雰囲気だ。これは天井裏にも設置でき、その場合は天井下側に小さな透明のキャップみたいなものを出して青く光るLEDによって状態を確認できる。ぜひとも自宅の天井に取り付けてみたいものだが、アクセスポイント単体では機能しないのが残念だ。

## 無線LANベースのVoIP電話

会場内にはVoIPショーケースというコ



トラピーズ・ネットワークスのワイヤレススイッチとアクセスポイント。ほかと比べるとちょっと普通っぽい。



日本シンボルテクノロジーのワイヤレススイッチとアクセスポイント。アクセスポイントの中央でLEDが青く光る。



日本シンボルテクノロジーの無線LAN電話「Net Vision Phone」。通話品質はかなりよかった。



韓国Syspol社のBluetoothフォン「VoB」。とりえず低価格が売りらしい。

ーナーが設けられていたが、残念ながら無線LANベースのVoIP製品の展示はほとんどなかった。シスコシステムズが6月に発表した無線IP電話は、展示はされていたものの実際に試してみることはできなかった。

そんななか、唯一試せたのが日本シンボルテクノロジーの「Net Vision Phone」で、これは802.11b上で動作する。電池の持ちは、待ち受け時が30時間、連続通話時で3時間なので携帯電話にかなり近づいていると言える。通話をして遅延はほとんど気にならず、使用する帯域幅が広いこともあって音質は携帯電話よりもよかった。

## おまけ Bluetoothを使ったVoIP電話

無線LANではないが、Bluetoothで使用する電話が韓国のSyspolという会社のブースで出展されていたので試してみた。Best of Show Awardにノミネートされていたものの、正直言ってまだ発展途上。無線LANベースの他社製品と比較して遅延が多く、音質もよくなかった。Bluetoothを使うため無線LANより低価格で電池の持ちがよいのは利点。しかし逆に、いろいろな点でBluetoothの制約を受けているようで、目の付けどころは面白くも仕上がりが残念だった。



## 5店舗を展開するモスペンカフェの真意 カフェの顔をしたオフィスで定位置を作らない

今回取り上げるモスペンカフェは、カフェとオフィスを共存させた非常にユニークなビジネスモデルの上で無線LANのサービスを提供している。その経緯をモスペンカフェを運営するパリスライト株式会社の佐々木善浩氏、内聖一氏、古川哲大氏に伺った。

### モバイルオフィスの上に行く 賃貸料が浮く斬新な手法で カフェ=オフィスを実現

現在5店舗を展開するモスペンカフェは、SK(システムインテグレーター)事業を手がける株式会社コンピーを中心にしたモスペンクラブというグループ企業体の、オフィスでもありカフェでもあるという場所だ。どういうことかと言うと、モスペンクラブに属する企業の営業マンには、自分のオフィスを与えていない。その代わりに本来オフィスにするべきところをカフェにして、そこにコピーやファックス、インターネットアクセスの設備を用意している。営業マンは最寄りの“カフェ”で仕事をすればいいので、移動の効率が上がる。しかも、カフェとしても運営されているため、オフィススペースの賃貸料が浮くという一石二鳥の仕組みだ。実際、モスペンカフェの各店舗(オフィス)賃貸料分は、カフェとしての収入で十分に元が取れているらしい。

IT系企業を中心に、フリーアクセスフロアやモバイルオフィスなどの概念を取り入れている企業があるが、私物を置きっぱなしにして定位置を作ってしまう、結局機能

していない事例が多い。しかし、モスペンカフェのように一般の人が自由に行き交うカフェにしてしまうとそうもいかないため、この試みは完全に成功しているようだ。

### PC貸し出しや文房具販売も 仕事ができる環境でも 目指すのは普通のカフェ

カフェの雰囲気にも気を配られていて、「あえてPCは並べず、貸し出し方式にしている、普通のカフェの雰囲気にしていく(佐々木氏)」そうだ。確かにコピーやファックスもカフェ部分からは見えないところに置いてある。しかし、ペンや電池、クリップなども販売していて、ビジネスマンが外出の合間に仕事をするための設備はひとつとおり揃っている。

一体どんな人が利用しているのだろうか。渋谷店の場合ちょっと面白くて、昼はビジネスマンが多いが、近くにクラブがあるので、夜になるとその帰りの人たちがイベント情報などを検索しに來たり、フライヤーを作成しに來たりするらしい。ちなみに、インターネットを利用するために訪れる人の約2割が自分のPCを持ち



左から、佐々木善浩氏、内聖一氏、古川哲大氏。

込んでいるとのことだ。

### 無線LAN利用者も喜ばしい オフィス・ビジネスの拡大が カフェの設置につながる

最後に無線LANに限った話をすると、実はモスペンカフェは以前モバイルインターネットサービス(サービス名Genuine)のアクセスポイントとなっていたが、利用者はほとんどいなかった。現在のオープンな形態にしたところ、無線LAN利用者数はかなり増えたそうだ。全体的にはまだまだ貸し出し機を利用する人が多い。それでも、今後展開していくカフェも無線LANは必ずサポートする予定だ。

モスペングループがビジネスを拡大すると、「オフィスの拡大=カフェの設置」となるので、無線LANスポットを利用するわれわれとしては本来のビジネス業務を頑張っしてほしいものだ。

#### モスペンカフェの店舗

##### 渋谷店

東京都渋谷区道玄坂2-15-1 ノア道元坂B-4  
TEL : 03-5728-1636

##### 新宿店

東京都渋谷区代々木2-11-20 新宿島津ビル1F  
TEL : 03-5302-9813

##### 六本木店

東京都港区六本木3-8-9 ソシエ1F  
TEL : 03-5772-0391

##### 神田店

東京都千代田区神田須田町1-24 エル神田ビル1F  
TEL : 03-5297-5725

##### 横浜店(現在改装中 9/1より再開)

神奈川県横浜市中区常盤町5-66 ブランタンビル1F  
TEL : 045-228-2483



渋谷店の店内。インターネットは1時間200円で利用できる。



本文では紹介しなかったが、本格的に仕事をしたい場合は個室を借りることができる。



東京・六本木

# 六本木ヒルズ iSpot

## 話題のスポットでも無線LANが利用できる

六本木ヒルズでiSpotという無線LANサービスが開始された。東京の新名所とはいえ、六本木ヒルズって自分ではあんまり行くことはない場所だろうと思っていた。行ってみるとオフィスや店舗だけでなく映画館やカンファレンス用のホールなどがあって、いろんな形で“街”に足を運ばせようというコンセプトのようだ。

iSpotは理経が新宿などで提供しているBizPortalの仕組みを利用している。事前に申し込み必要はなく、1日(24時間)500円、もしくは1週間で1,000円の料金設定となっている。支払いはクレジットカードのみで、iSpotを利用できる場所で無線LANに接続してからブラウザ経由で申し込みればいい。ESS-IDとWEPは事前に設定しておく必要があるが、六本木ヒルズ内の6か所のインフォメーションでiSpotのパンフレットが配布されていて、そこに設定のための情報が記載されているので、覚えておかなくても大丈夫だ。

ちなみに、料金を支払わなくても六本木ヒルズのポータルサイトまでは接続でき、施設の情報をチェックできる。

iSpotのアクセスポイントは六本木ヒルズの広大な敷地内の屋外もしくは屋内の公共スペースに15か所設置されている。設置場所がわからなければ、どこで電波が拾えるのかまずわからない。そこで今回は、iSpotの担当者に設置したアクセスポイントのアンテナ形状を教えてもらったので、ぜひ写真を参考にしてほしい。

アンテナの場所がわかっても、やっぱりどこで使おうかと迷ってしまう人のために、おすすめポイントを紹介しよう。店名は省略するが、ウエストウォーク北側にある1階のカフェと屋外の電波が拾える2階のカフェ、イーストコートは雰囲気がいい。レジデンスCブリッジレベルにあるカフェの脇に隠れた長いベンチはアンテナの下で穴場だ。けやき坂通り沿いにある芸術家が手掛けたいろんなベンチは空いている確率が高そう。

アクセスポイントは今後増設する予定があり、庭園を含めて屋外部分はほぼカバーされるといふ。将来はこのインフラを使ってさまざまな試みを行っていくそうなので、そのときにはまた取り上げてみたい。



六本木ヒルズの正面にあたる「66プラザ」。ここはどの場所でも快適にアクセスできるが、ベンチはいつも混んでいる。



イーストコートのテラス。右側の天井にアンテナがある。



【A】ウエストウォーク内の掲示板。この中にアンテナが隠れている。



【B】屋外では監視カメラと一体で設置されている。

**六本木ヒルズデータ**

利用時間：24時間  
 住所：東京都港区六本木6丁目  
**URL** <http://www.ispot.miinet.jp/>  
 利用方法：iSpotサイトからクレジットカードによる申し込み  
 料金：500円(24時間) 1,000円(7日間)  
 ESS-ID：bizportal  
 WEP：4510201804



無線LAN接続後の画面。ここから利用を申し込む。

けやき坂通りのベンチ。各ベンチの前は電波が強くて快適だ。これは、カリム・ラシッド作「ス・ケープ」。芸術的すぎるのが、天気の良い日でも座っている人は少ないようだ。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)